



次世代  
Okushin  
がんプロ

## 第7回先進呼吸器外科学セミナー・ 次世代北信がんプロFD講演会

2024年11月7日(木) 16:00~  
金沢医科大学病院中央棟3階 中会議室3

# 胸部悪性腫瘍に対する凍結融解壊死療法



## 朝倉啓介先生

慶應義塾大学医学部外科学(呼吸器) 教授  
慶應義塾大学病院 病院長補佐

2002年 慶應義塾大学医学部卒業、同大学病院外科 研修医  
2011年 国立病院機構姫路医療センター呼吸器外科 医員  
2012年 相模原協同病院呼吸器外科 医員  
2013年 慶應義塾大学医学部外科学(呼吸器) 助教  
2015年 国立がん研究センター中央病院呼吸器外科 医員  
2018年 慶應義塾大学医学部外科学(呼吸器) 専任講師  
2021年 慶應義塾大学病院 病院長補佐(現職)  
2022年 英国St. James's University Hospital短期留学  
(日本胸部外科学会フェローシップ)  
2023年 慶應義塾大学医学部外科学(呼吸器) 教授(現職)

### 認定資格

日本外科学会 外科専門医・指導医、日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医、  
呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、  
ロボット手術術者認定資格(surgeon certificate)、日本メディカルAI学会公認資格  
学会役職

日本呼吸器外科学会 評議員・国際委員会委員・総合診療委員会委員・編集委員会委員・NCD委員会委員  
日本肺癌学会 評議員・アーリーキャリア支援委員会委員・関東支部会幹事  
日本胸部外科学会 関東支部会幹事

悪性腫瘍の3大治療は、手術、放射線、薬物療法であるが、近年、第4の治療としてアブレーション治療が発展してきている。肺腫瘍に対するアブレーション治療として最も広く用いられているのはラジオ波焼灼術であるが、当科では2002年から超低温で腫瘍を壊死させる凍結融解壊死療法を行ってきた。原発性肺癌、転移性肺腫瘍を中心とする胸部悪性腫瘍に対する凍結融解壊死療法のエビデンスと今後の展望について解説する。

担当 浦本 秀隆 金沢医科大学 呼吸器外科学 教授

共催 次世代北信がんプロ

問合せ 金沢医科大学学事部大学院課 d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp